

平成 24 年度みんなで支える森林づくり北信地域会議（第 1 回）概要

1 開催日時 平成 24 年 6 月 29 日（金）13 時 30 分から 15 時 30 分まで

2 開催場所 中野市大字壁田 北信合同庁舎 4 階 講堂

3 出席者 委員 8 人

◎竹節 義孝 山ノ内町長

高森 壽實夫 北信州森林組合長

桑原 重雄 栄村森林組合長

宮崎 正毅 NPO 法人 北信州の森林と家をつなぐ会 代表理事

小山 八寿子 みどりの少年団北信地区協議会長

竹節 高四郎 自然公園指導員

佐藤 勝志 北信猟友会

笹岡 紀美雄 指導林家

※オブザーバー 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村
北信州森林組合、栄村森林組合

※一般傍聴者 1 人

※報道関係者 北信ローカル

4 開会

(1) あいさつ 柳澤北信地方事務所長

(2) 委嘱状の交付 小山委員（人事異動に伴う委嘱）

5 会議事項

(1) 報告事項

ア 平成 20～23 年度長野県森林づくり県民税活用事業の実績について

(ア) みんなで支える里山整備事業・木育推進事業関係

(イ) 森林づくり推進支援金事業関係

イ 地域材の利用推進について

(2) 協議事項

ア 平成 24 年度事業計画について

(ア) 森林づくり推進支援金事業計画について

(イ) 木育推進事業（地域活動型・資材譲与型）計画について

(3) 意見交換

(4) その他

6 閉会

7 議事録

(1) 平成 20～23 年度長野県森林づくり県民税活用事業の実績について

◇事務局及びオブザーバー（市町村）から説明（資料 1、2）

◇高森委員

北信地域とは直接関係ないが、平成 24 年度林務部業務内容の 17 ページに「森林の里親促進事業」とあるが、事業内容はどうなっているのか知りたい。

◇事務局

県の仲介で企業と森林所有者が提携し、企業の社会貢献として森林整備を実行したり、その作業に必要な経費を負担するといった内容の事業である。こちらに記載している予算額は、県が行うシンポジウムや普及啓発用パンフレットの作成に充てる費用である。

◇宮崎委員

最近、病害虫による枯損木が目立つようになってきた。観光地を抱えている地域ではイメージダウンに繋がるため、積極的に処理して欲しい。

山ノ内町で実施した木質化事業は、町全体を使った PR 活動になり、非常に良いことだと思う。このような事業（活動）が管内市村に広がれば、山（森林）の整備に繋がると思うので、もっと PR に力を入れていただきたい。

◇議長

県と市町村のやり取りはどうなっているか。

◇事務局

双方の担当者が地域を交え、PR を含めた内容で事業が実施できるよう調整している。

◇桑原委員

森林整備が計画以上の実績となっており、森林づくり推進支援金も地域に役立っていると思うので、今後も続けてもらいたい。

(2) 地域材の利用推進について

◇事務局及びオブザーバー（市町村）から説明（資料 3）

◇高森委員

平成 22 年度に北信州森林組合の事務所と併せて展示施設を建設した。木材を多く使用しているため、建設直後から見学者が多く、木の香り良いと喜ばれている。現在も見学者を受入れており、今後も「木の良さ」を PR していきたい。

◇宮崎委員

木造住宅、木造の建物が広がってきたことは良いことだと思うが、公共施設に偏っていることが少々残念である。そのせいか一般の人達が県産材、地域材に興味を持っていない。木材を使った建物をもっと一般の人達に見てもらい、木の必要性、山の大切さ、木を使うことをもっと知ってもらいたい。

「木育」に関して言うと、1 年に 1 箇所やれば予算が終わってしまい、順番を待っている時間が長すぎるので、木育に関する予算の拡大をお願いしたい。

◇事務局

木育推進事業は、森林税活用事業の 3 つ目の柱となっているが、大きな目的である森林整備の実施に予算を大きく充てている。このため、木育推進事業の予算に限りがあるのが実情である。少しでも木育推進事業の予算が確保できるよう、みなさんからの要望を聞きながら進めていきたい。

◇小山委員

学校現場を預かる者として、木育推進事業は非常に良い事業だと思う反面、順番が回って来ない事業だなと感じている。個人的な意見としては、里山で子供達をもっと遊ばせたいと思っている。早期実現と「木育」の拡大を願っている。

(3) 平成 24 年度事業計画について

◇事務局及びオブザーバー（市町村）から説明（資料 4、5）

◇佐藤委員

猟友会としての立場から言わせていただくと、里山整備（緩衝帯整備）は、今後も積極的に進めてほしい。野生鳥獣が田畑に出にくい環境になり、農作物被害が減少する。予算の確保と早期実施をお願いしたい。

◇竹節委員

観光地にも野生鳥獣の被害が出ている。緩衝帯整備を進めてほしい。「木育」については、木の大切さ、山の大切さを子供達に伝えることができる体制整備をお願いしたい。自然災害に強い森林をつくり、維持できるようお願いしたい。

◇宮崎委員

やってはいるけど一般の人達からは「見えていないのではないか」といつも感じている。山が整備されていると気持ちがいいし、野生鳥獣も来なく（出なく）なり、観光客の印象も良くなる。看板等を出しているようだが目にしないので、「森林税を使って整備している。」ことをもっと PR した方が良い。

本年度の木育推進事業で計画している木島平小学校（木島平村）については、PTA と連携を取りながら少しずつ進めている状況である。子供達が今までやったことがないことを全て経験させたいと考えている。

◇事務局

広報活動ですが、横断幕を設置して森林整備の実施を PR している。県全体ではコンビニにリーフレットを配置する等一般の方々への PR を行っている。

鳥獣害対策については、対策チームを作って地域の皆さんと被害の状況を調査し、それに応じた対策を講じている。現在は、北信猟友会が主体となって「広域捕獲隊」を編成し、飯山市清川地区、山ノ内町金倉地区でニホンジカを対象にくくりワナを用いて捕獲を進めている。ツキノワグマの活動が活発化しているせいかニホンジカ等が出にくい状況にあると推測され、成果が上がっていない状況である。

◇高森委員

森林づくり推進支援金の計画について、内容は問題ないと思うが、基本配分額と重点配分額とともに全体計画がひと目で分かるような表にした方が良いのではないかと検討してほしい。

森林税で森林整備を実施するに当たり、所有者と 20 年間の「森林整備協定の締結」、「管理委託契約の締結」、「森林経営計画の同意」、「施業委託契約の締結」と 4 種類の書類に押印してもらわなければならない。簡素化できないか検討してほしい。

木材自給率 50%を目指して地域材を活用していくということだが、自給率の向上と併せて需要拡大にも取り組む必要があると考えている。北信地域には製材場が少ないので、この点を含めて検討していく必要があるのではないかと。

◇事務局

森林整備を実施するに当たり、相当量の書類を取り交わすことになっている。現在の4種類の書類は必要最小限の書類と認識している。

地域材の需要拡大について、県の大きな流れとしては、県下（中信地区）1箇所に大規模な木材加工施設の設置に向けて検討が始まっている。次回の会議では概要が分かる資料を添付したい。

森林づくり推進支援金の計画一覧表については、全体像が分かるような表になるよう工夫したい。

◇桑原委員

平成24年度の計画については、各市町村の特色のある内容で良いと思う。

自給率50%の件ですが、北信地域は豪雪地帯のため「根曲がり材」が多く、製品は合板が多くなる。材積が増えないと補助金がもらえないシステムになっているため、低質材にも補助金がもらえるよう検討していただきたい。

◇笹岡委員

山を利用しないと、山を守ることができないと考えている。森林税の事業が始まって5年目になるが、山が整備され、どんどんきれいになっていく。非常に良いことだと思う。

山ノ内町や木島平村では、木材を利用した取組みが行われているが、子供達にとっても、地域にとっても良いことだと思う。このような木材利用に重点をおいた取組みを広めていく必要があると思っている。

◇小山委員

以前勤務していた小学校では、保護者と子供達が里山の手入れを行い、最終的には登山道を整備するに至った。里山で遊んでいた祖父母や親の世代が、今の荒れた山を見て入るのを止めていたが、子供達と一緒にこの登山道を使って山に入るようになった。里山整備（森林整備）の大切さを子供達に教え、子供達から親達へ里山（森林）の大切さを伝えられればと思う。

◇事務局

桑原委員が言われた材積が増えないと補助金がもらえないと言うのは、国庫補助事業である森林造成事業（搬出間伐）のことであり、森林税活用事業（切り捨て間伐）とは制度が違うことをご理解願いたい。

山を利用する（木材を利用する）と観点で木育推進事業に取り組んでいる。要望があれば計画から実施まで支援する。

◇議長

北信地方事務所長から平成24年度事業計画に対して意見を求められているが、事業計画については適当と認める。各委員からいただいた意見を踏まえつつ、平成24年度事業に生かしてもらいたい。

森林税も本年度で5年目を迎えひと区切りとなるが、その点を含めて何か質問や意見はあるか。県の6月定例会で知事が森林税を続けたいと発言しているが、事務局の方で何か情報があればお願いしたい。

◇事務局

県民税を活用して実施する「森林づくり支援金事業計画」については、皆さまからの意見を踏まえた結果を、各委員と市町村へ改めて連絡するとともに、北信地方事務所のホームページ上で公開していく。

「木育推進事業計画」については、地域会議の意見を踏まえて、県の同意を得ることとなっているので申し添える。

(4) その他について

◇事務局から森林税の見通しやスケジュールについて説明（資料6）

◇宮崎委員

目的さえはっきりしていれば金額（税額）はいくらでも構わないと思う。目指す方向を明確にし、必要性を県民に訴えていった方が良いのではないか。いずれにしても森林税は継続してほしい。

◇高森委員

次期森林税の姿がはっきり見えてこないので話しにくいですが、水問題が新聞紙上を賑わしているが、水は観光資源として大切にしなければいけないと思う。水源の話が表に出ると森林税の姿が薄れる気がするが、水源林を含めた森林税となるよう検討していただきたい。

◇事務局

意見については、県の担当部局を通じて研究会の方へ伝える。研究会では「水源」を含めるとまとまらない恐れがあるため、「森林」と「水源」は切り離して検討し、「森林」というものをより前面に出した制度にしたいと考えている。

【状況写真】



小山委員 委嘱状交付



事務局説明



意見交換の状況



意見交換の状況



意見交換の状況